



上高地 防災マップ

Kamikochi Hazard Maps

上高地の地形は、北アルプスの隆起運動と激しい浸食作用に焼岳の火山活動が加わって形成されました。この特殊な地形を基盤に、河川や土砂の自然な流動によるかく乱作用を必要とするケショウヤナギの存在に象徴される、貴重な生態系が成立しています。こうした上高地の成り立ちは、いつの時代にも人々を魅了する普遍的で傑出した自然景観を作り出している一方で、災害を招きやすい要因となっています。上高地を訪れる一人ひとりが、上高地の成り立ちと災害特性を理解したうえで、防災・減災に対する心構えをもっておくことが重要です。

作成：長野県松本地域振興局、松本市
協力：長野地方気象台

令和6年3月発行

各種情報入手一覧

長野県防災情報ポータル



松本市ホームページ（焼岳）

上高地公式ウェブサイト



自然公園財団
上高地支部ホームページ

携帯電話サービスエリアの確認



※上高地内の遊歩道等には携帯電話の不通エリアがあるため、拠点施設等であらかじめ使用可能場所等を確認してください。



9月27日は「信州 火山防災の日」です

焼岳の噴火警戒レベル2では、小規模な水蒸気噴火が発生し、火口から概ね 1km まで噴石が飛散する可能性があります。焼岳小屋は閉鎖し、登山は禁止となります。噴火警戒レベル3では、火口から 1km を超えて噴石が飛散する可能性があります。この時、県道に大きな噴石が飛散することも想定されるため、県道への立ち入りが禁止されます。

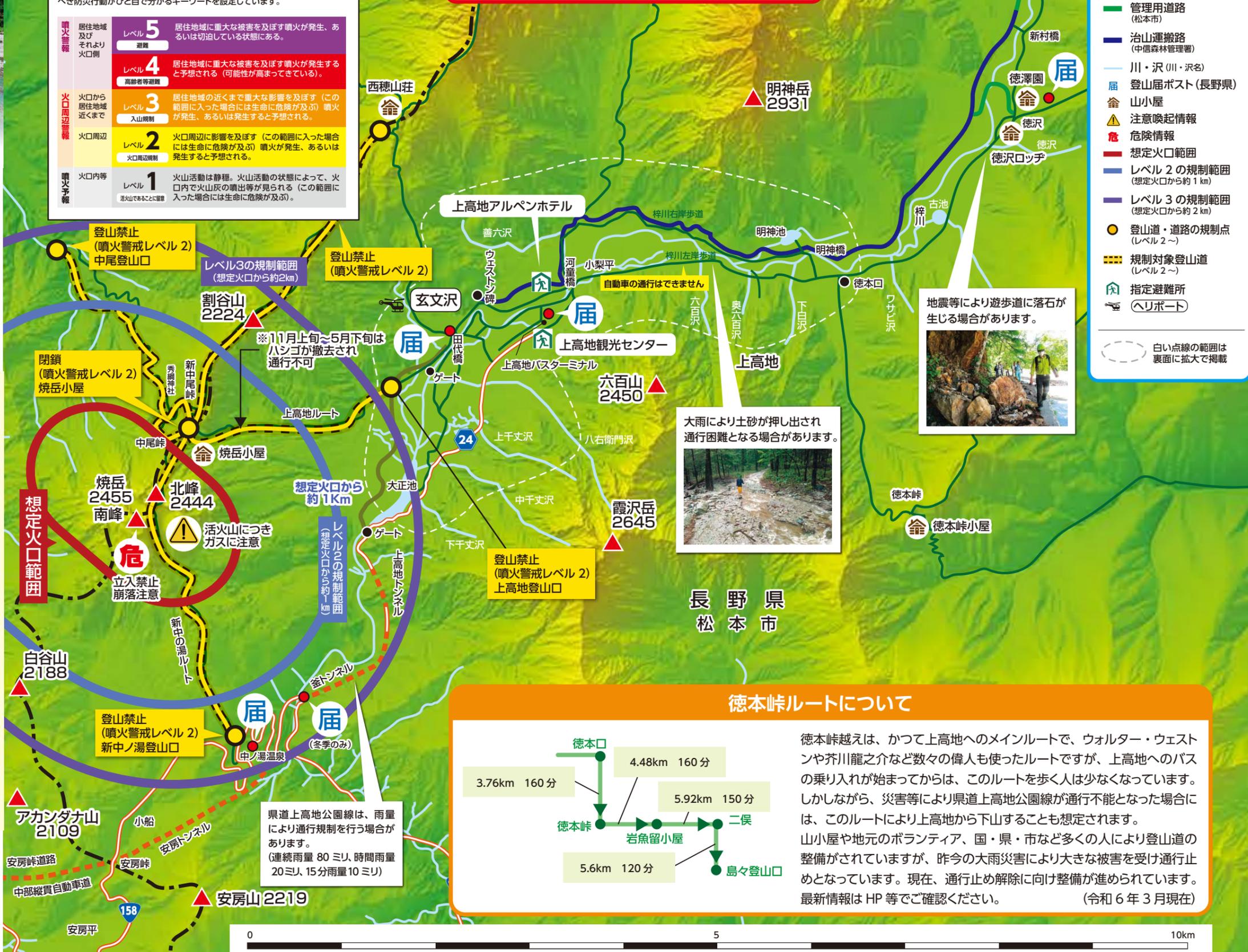
噴火警戒レベル

住民避難等の判断基準については、気象庁が発する「噴火警戒レベル」を基に設定しています。警戒が必要な範囲や、必要な防災対策を表す指標で、火山活動の状況により1～5レベルに区別されており、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動がひと目で分かるキーワードを設定しています。

噴火警戒レベル	居住地域及びそれより火口側	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。
レベル5	避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。
レベル4	高齢者等避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。
レベル3	入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
レベル2	火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
レベル1	活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。

上高地では地震にも注意

上高地周辺の地域で発生する地震は震源が浅いため、M5クラスの地震が起こった場合、震源直上では震度5弱相当以上の揺れに見舞われることがあるため、注意が必要です。



徳本峠ルートについて

徳本峠越えは、かつて上高地へのメインルートで、ウォルター・ウェストンや芥川龍之介など数々の偉人も使ったルートですが、上高地へのバスの乗り入れが始まってからは、このルート歩く人は少なくなっています。しかしながら、災害等により県道上高地公園線が通行不能となった場合には、このルートにより上高地から下山することも想定されます。山小屋や地元のボランティア、国・県・市など多くの人により登山道の整備がされていますが、昨今の大雨災害により大きな被害を受け通行止めとなっています。現在、通行止め解除に向け整備が進められています。最新情報はHP等でご確認ください。(令和6年3月現在)

徳本口	徳本峠	岩魚留小屋	二俣	島々登山口
3.76km 160分	4.48km 160分	5.92km 150分	5.6km 120分	